

学院の近況

江差も夏本番となり、暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

7月27日に開催した「江差高看まつり」は、地域型オープンキャンパス（看護師を目指す中高生のほか、地域の方々も対象）としては2回目の開催です。

当日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、118人も多くの方々にご来場いただき、地域の関係機関・団体のご協力の下、盛大に、そして何よりも無事に終了することができました。皆様大変ありがとうございました。

開催準備や当日の来場者の方々への対応（キャンパスツアーやミニ縁日等）など、参加した学生全員、一生懸命頑張りました。

夏休み期間中はしっかりとリフレッシュをし、始業となる8月26日から元気な姿で学院に戻ってきてほしいと思います。

さて、江差町では、7月6・7日に、江差3大祭りの一つである「かもめ島まつり」が開催され、「全道北前船競漕大会」に江差高看チーム（1・2年生合同）が参加する予定でしたが、残念ながら雨天中止となりました。この大会は、私も30年前に参加した経験がありますが、この町でしか経験できない地域の特性を活かした素晴らしいイベントだと思いますので、来年も是非チャレンジしてほしいと思います。

また、8月9～11日には、同じく3大祭りの一つである「姥神大神宮渡御祭」が行われます。私自身、平成3～5年の3年間、「聖武山」（橋本町）の山車を引くなどして参加し、道中、数多くの見知らぬお家にお招きいただき、お酒などをご馳走になりました。

30年振りとなる今年のお祭りは、当時を懐かしみながら楽しみたいと思います。（学院長：夕下 司）



札医大病院・コドモックル実習報告 ～ 江差高看の魅力あるカリキュラム ～

3年生7名が、7月30～31日の一泊二日で、札幌医科大学附属病院と北海道立子ども総合医療・療育センター（施設愛称：コドモックル）の見学実習を行い、「高度医療の実際と一般医療との連携を学び看護師の役割を学ぶ」ことを目的に、病院の機能と看護の特性について説明を受け施設を見学しました。

札医大病院では「高度急性期医療の中では特に予見する力や多職種連携の必要性を感じた」「医療や看護について探求することが必要」「重症度・緊急度が高い対象に看護することについて、葛藤ややりがいについて看護師から聴くことができ感動した」、コドモックルでは「小児が療養生活を送る環境を観て、発達段階によっての不安の軽減の仕方が違う」など、多くの気づきを得られたようです。

さらには、高度医療で働く看護師の姿を見て、自分の将来のキャリア（専門看護師・認定看護師等）についても考える機会になったようで、夏期休暇明けの「実習レポート」が待ち遠しいです。

今年度で二度目の取組でしたが、今後も「道立の強み」を活かした実習として継続していく予定です。

（実習係：臺坂恵子）



地域型オープンキャンパス

「江差高看まつり」を開催！



- 日 時 令和6年7月27日（土）11時～14時
- 場 所 江差高等看護学院
- 主 催 地域型オープンキャンパス実行委員会
（江差高等看護学院・学生自治会・同窓会、道立江差病院、北海道檜山振興局、江差町、江差高校、NPO法人まちカフェ江差、カウンセリングオフィス静律、北海道保健福祉部）
- 特別協賛 檜山町村会、江差高等看護学院同窓会、株式会社北都DM
- 来場者数 118人

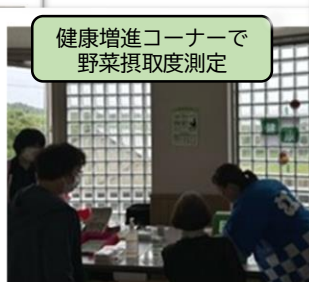
うっさん&しげっち登場



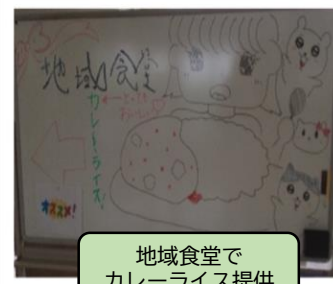
キャンパスツアー
参加者（高校生）
への説明



健康増進コーナーで
野菜摂取度測定



地域食堂で
カレーライス提供



ミニ縁日



看護・患者体験コーナーで
心臓マッサージ体験



小さな看護師さん撮影会



モデル人形を使って
心臓の音を聞く体験



学生自治会から



今回は地域の方々を招いて2回目の開催となりました。
前年度より参加した学生の人数が少ないものの、学生一人一人が案を持ち出し、工夫をしながらミニ縁日やキャンパスツアーに取り組みました。

開催が近づくにつれ、学生間でも盛り上げたいという気持ちが重なり、互いにいい影響を与え合うことが出来たと思います。

当日、ミニ縁日はたくさんの方々がいらして、老若男女を問わず、笑顔あふれる時間であったと感じます。

これからも地域の皆様に喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思います。

学生自治会長 小滝怜奈

1年生

1年生は「お互いを尊重し、信頼関係を築く」という大目標のもとに、①少数派の意見を大事にする、②報連相を確実に行う、③どんな時も助け合おうという小目標をそれぞれ掲げ、日々過ごしています。

6月17日には、クラスの団結と身体を動かしてフレッシュすることを目的に、講堂でバドミントンを行いました。

1年生4名と担任に加え、学院長と両副学院長も参加し、総勢8名で身体を動かし、声を出し、ストレス発散です!!(職員4名は老体に鞭を打ち、怪我無く無事に終えられ一安心)

7月は試験が週2回ペースで入っており全員合格。夏休み明けも週1ペースで試験は続きます。計画的に学習を進め、時折身体を動かしつつ、ストレスをためずに過ごしてほしいものです。

警察の方に手ほどきを受けた護身術の様子もご覧ください。《1学年担当：金田いづみ》



2年生

2年生は、6月17日から7月3日まで、基礎看護学実習Ⅱを道立江差病院で行いました。

今回の実習から、患者さんの疾患・症状から必要な援助を考えて実践することが求められます。教科書に書いてある原理・原則を基に、受け持ち患者さんの日常生活における自立度に合わせて、適切な援助を考え、受け持ち患者さんに合わせた計画を立案し実施します。また、今の患者さんの病態はどのような状態なのか、検査データやバイタルサインの数値から裏付けして考える看護過程の思考も取り入れた実習となりました。看護師はチームで動くため、メンバーの動きも意識して行動した実習となりました。自分だけでなく相手のことも考えて行動するのは大変ではあったと思いますが、協力して取り組むことの大切さを学べたのではないかと思います。

学内の講義は、注射器を使った演習や包帯法の演習など、より専門的になってきています。夏期休暇中は、ON-OFFの切り替えを上手に行い、後期の実習に向けて学習習慣を整えていってほしいと思います。

《2学年担当：竹田里美》



▲包帯法の演習の様子

3年生

5月から始まった6クールの各論実習も中盤を迎え、残すところ2クールとなりました。それぞれの実習先で様々な発達段階や健康の段階の患者さんと出会いました。“患者さんを尊重すること”、“患者さんに寄り添うこと”、“必要な看護”について、患者さんと向き合い、考え抜く学生たちの姿勢に、より一層の成長を実感しています。学びを得るほどに、いきいきとする学生の表情に教員一同も刺激を受けています。夏期休暇明けも実習は続きますので、生活リズムを整え、体調管理を大切に過ごしてほしいと思います。

現在、最終学年の夏期休暇中ですが、“夏を制する者は国家試験を制す”という言葉があります。どのように過ごすかが非常に重要となります。リフレッシュしつつも自分の夢に向かって、悔いの残らないように学習を進めましょう。

《3学年担当：楠原千景》

▼実践に即した演習風景



▼沐浴練習



▼分娩の演習風景



■学生の確保に向けた取組み■

来年度の入学生確保に向けた取組みとして、6月18日に高校教員向けのweb説明会を開催しました。

当日は道南、道央圏の高校から4名の参加をいただき、学院の現状や概要のほか、7月27日に開催する「江差高看まつり」の説明を行いました。説明終了後、高校教員からは国家試験対策のサポート体制や推薦入試に関する質疑などがありました。

当学院としては、上記説明会のほか各地域の高校訪問を積極的に行うなど、学生確保対策をより一層推進してまいります。

また、道本庁においては、新たな取組として、来年度の一般入試において、3つの道立高看合同の試験会場を札幌市内に設けるとともに、3高看合同のオンライン説明会（対象：高校生・社会人等）を8月22日に開催することとしており、今後とも本庁と各道立高看とが連携しながら、学生の確保に取り組んでまいります。（副学院長兼事務長：大島慎也）

【推薦入試、社会人入試】

- ・受付期間 令和6年9月2日（月）～9月30日（月）
- ・試験日 令和6年10月26日（土）
- ・合格発表 令和6年11月19日（火）

募集要項 ⇒



【一般入試（I期）】

- ・受付期間 令和6年11月15日（金）～12月9日（月）
- ・試験日 令和7年1月14日（火）
※会場：江差、札幌（新たに追加）
- ・合格発表 令和7年2月14日（金）

【オンライン説明会】

令和6年8月22日（木）
18:00～19:00

※高校生のほか、社会人等の参加をお待ちしています。

参加申込み ⇒



ハラスメントに関する相談や学院生活への意見等

学生の皆さんがハラスメントと思われることを受けた場合や、他の人が受けている場面を見た場合は、「ハラスメント相談員」に相談してください。

また、学院生活について、教員に言いづらい意見等がある場合は、「目安箱」に投函してください。

スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学院生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 8/29（木）、9/26（木）16:30～18:00
全員面談 9/12（木）13:30～17:30 ※3年生、2年生
- 予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。
予約専用メール sc.soudan@gmail.com
①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生

「学院閉庁日」の取組にご理解とご協力をお願いします

当学院では今年度より、職員の働き方改革の取組として「学院閉庁日」を実施することとし、学生の夏休み期間中である8/13（火）～16（金）の4日間をお休みさせていただきます。

この期間中（前後の土日祝を含む）に学院への連絡事項がある場合は、学生や保護者の方は学年担当教員に、その他関係機関等の方々は、次の連絡先にご連絡ください。

【連絡先】学院代表メールアドレス hofuku.esakango1@pref.hokkaido.lg.jp